古手梨花はなかない

古手梨花は
なかない

お手にとっていただきありがとうございます、
角砂糖ゆんです。
以前から創りたいと思っていたお話を
どうにかまとめて作りました。
これから不定期で『古手梨花は、かがい』を
いくつかのカケラとして描いていきたいと思います。
希望や幻想をぶった切るお話しもあるとは思いますが、
どうかお付き合いください。

ありがとうございますですお陰様でよ～く分かったのですよ

にぱー

おう

みーっ！

――それでここにさっきの公式を当てはめて…だ！

これくらいお手の物だぜ

ポソ：それにしても本当に梨花ちゃんはかわいいなぁ

……？

ガタ
ガタ
ガタ

圭一
圭一ッ

これは一体なんの真似ですかッ

ガタ
ガタ

部活後にさっきのお勉強の続きだって言ったのに…！

ガキャ

ごめんな梨花ちゃん

へ

フッ

ドン

りっ梨花ちゃんお願いだから少しだけ舐めて！

泣かないで梨花ちゃんッ

やだ

ギッ

頼むっ誰にも言わないから…！

俺たち仲間だろッ!!

頼むっな……？

ほら……

ぐぎ

ぐぎ

ぐぎ

あ～…イきそう

執拗に先っぽ舐めてっ

ぴちゃ

あー…

あー…ッ

イッ

ビクッ

ビクッ

ビク

ポタ…
ポタ
ガチ…
梨花ちゃん
ごめん…な
仲間なのに俺……

ぷぃーなの
もうダメなのですよ
。。
ほ、
ああもちろん
圭一さんっ！
レディーに向かってそんな口を聞くなんて…
レディー？そんなのどこにいんだ？
ムキーーーッ!!
身の程を知る事ですわ!!
ゴ
ガ
ド
ガ
あはは
はははは
おはは

はは…

ぐぽっ

ぐぽっ

ぐぽっ

ぶるぶる
尿道に残ってるのも全部……な
ごくっ
ごくっ
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる

けっけけ
圭ちゃん～！

ん！

美味い！
今まで食べた中で
一番美味しい唐揚げだ！

ドキ

え……

はっう～～～☆
真っ赤な魅いちゃん
かぁいいよ～！

ちょっと止めてよ
レナ～

食事中に席を立ったり
手掴みで人様のお弁当に
手を入れるなんて…
なってませんわね

何を～!?

まじはははは

あっ

ぶるぶる…

口でぶけとめて…

ズッズッズッ
ズッズッズッ
ズッズッズッ

ぴゅっ
ぴゅっ

あー
避けちゃったか…

まあ拭けるよな
もう
していいか？

じゃあ今年も綿流し祭！いっちょ行こうかー!!
おーーー!!!
青色になりましたねー
どうしたんだ梨花ちゃん
浮かない顔をして…

この後の本納演舞に緊張しているのか？

俺が揉み解してやるよ…

そんで奉納演舞後も……

わっ

暗くなってきたねぇ屋台はこの辺にして奉納演舞待ちしようか

そうですわね

ドン
ドン
ドン

ドン
ドンドンドン

圭一くん今日も休みだったね
みぃ
この前も魅いちゃんと圭一くんのお宅にお邪魔したけど……ダメだったよ
……みぃ
そう言えば知恵先生から圭一くんのお家にプリントを渡すよう言われたの
そう…ですか
！
なんとなくレナはね
梨花ちゃんが圭一君を気にしてるように見えるかな…かな
あ……
は、はい

俺……俺……

…梨花ちゃん

祭具殿に入ってしまったんだ

それから皆おかしいんだよ

魅音が何度も同じ事を俺に聞いてくる

大石という刑事が執拗に質問攻めをしてくる

レナは…あんなに献身的なフリをして連続殺人事件の事を教えてくれなかった……ッ

圭一

オヤシロさまは怒っていませんだからボクが許します
皆勘違いしていたりレナは圭一を守ろうとしていたのです
圭一は大丈夫なのですボクがいますです
ボクが…圭一を守ります

はッ
ばッ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

ちゅっ
ちゅぱ
ちゅう
ぷるぷる
ぷくっ
ぷくっ
ぷくっ
——彼は私の事を信じてくれている
ぽ
ぐすっ

ビクッ
ビクッ
ビクッ
きっと彼はまだ大丈夫
トロ
ぐぃ
ぐぃ
…ーあああああ
はぁ
ぶるぶるぶるぶる
ぶるぶるぶる
ぶるぶる
ぶる
ぶる

ドクン…
ドクン…
ドクン…

[redacted]

ゆえっ

ゆえっ

ゴォ

ドガ

ドガ

ドガ

どうか

届いて

届いて

[redacted]

[redacted]

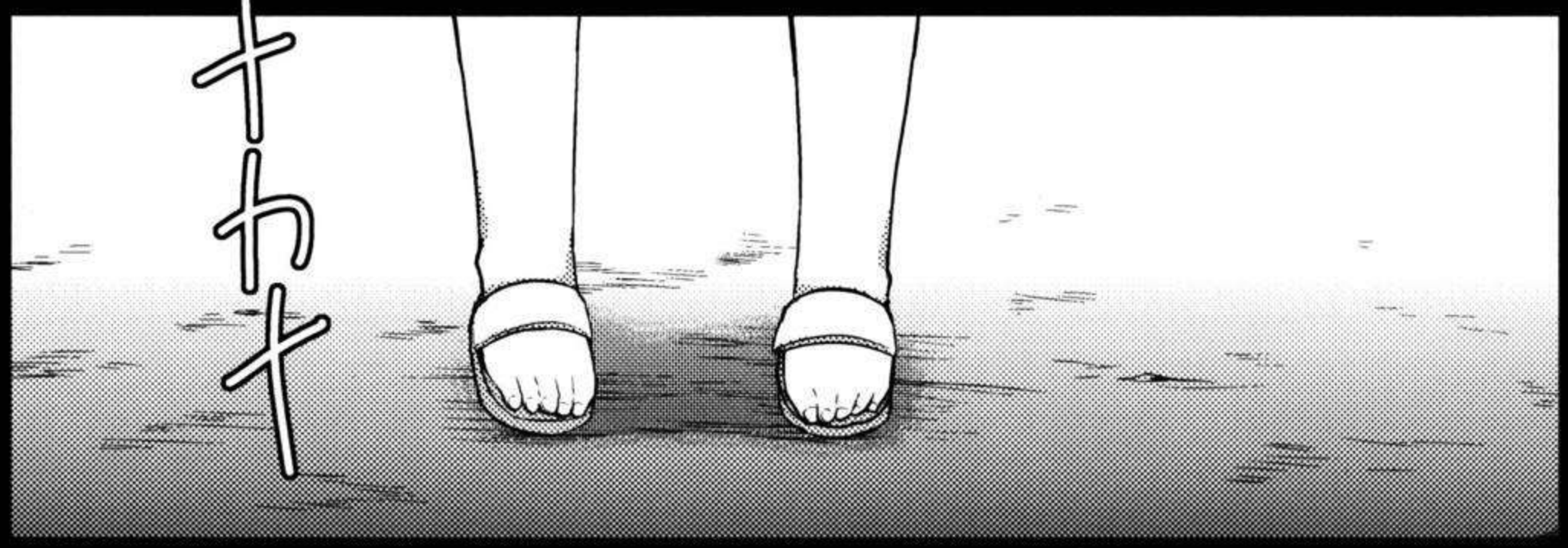
…圭一
圭一
圭一っ
私も
手を
手を
手を

ドクン
ドクン
ドクン

ああ…
は…は…
は…は…
これでもう…

カナカナカナ……

カナカナカナ



力
力
力
力
力
力
力
力

※本書の無断転載、複製、模写、
ネット上へのアップ等禁止※
※18歳未満の閲覧、購入禁止※

「もだあがいい」
:平成27年10月1日
:思春期
:株式会社栄光様
Twitter :kkzto_yun
mail :kkzto.yun@gmail.com

分からないところでもあるのか？

俺がいっちょ教えてやるか

罪を赦すことが罪にもなると、私は初めて知ったのです。

古手梨花はなかない
Present by 思春棄
2015.10 #7